

やまのべ 議会だより

創る、繋ぐ。子どもたちが誇れるまち

2021 **5**
令和3年5月12日発行
No.112

やまのべ
議会だより

2021年5月号 VOL.112



学校は楽しいよ!

| | |
|------------------|----|
| 3月定例会当初予算 | 2 |
| 予算特別委員会 | 4 |
| 議案審議 | 6 |
| 一般質問 | 8 |
| 臨時会 | 11 |
| 新しいまちへの挑戦 議会活動報告 | 12 |

写真/相模小学校新1年生
(関連記事 14ページ)

発行/山形県山辺町議会
編集/広報常任委員会

Eメール:gikai@town.yamanobe.yamagata.jp
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地
TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1112

山辺町議会
ホームページは
こちら



●発行/山形県山辺町議会 ●編集/広報常任委員会
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地 ○印刷/藤庄印刷株式会社

あなたの声をお聞かせください

～議会傍聴に参加した学生さんから感想をいただきました～



山形大学 人文社会科学部 1年
井出 敦也

町の課題に対して議員さんの熱い思いを生で伺うことができ、大変勉強になりました。今まで議会傍聴をしたことがなかったのですが、今回の傍聴を通して市政、町政のことを気にかける機会ができました。今後は政治を身近なものとして、より理解を深めたいと思います。



山形大学 人文社会学部 1年
新山 郷

議会傍聴は一般の人も聞くことができると分かっていても、気軽に参加するには壁があると感じていました。しかし実際に傍聴する中で、自分たちの政策の発表以外でも参考になる話がいくつもあったので、今後も機会があれば参加したいです。



山形大学 地域教育文化学部 1年
三浦 奈々

一般質問の内容は大変勉強になるものでした。議員さんが地域と交流し、課題を見つけ、そのことについて勉強することの重要性を学ぶことができました。地域のために活動することは何か理解できたと思います。



山形大学 工学部 1年
水橋 卓都

新型コロナウイルスの対策や、公共施設などの運営方針など難しい課題がたくさんありましたが、皆さん一人一人が真剣に問題と向き合っていたのでさすがだなと思いました。今回出た問題を私たちの政策でも活かせるように取り組んでいきたいです。



山形県立米沢女子短期大学
英語英文 1年
朝倉月姫華

議会傍聴に参加したのは初めてでしたが、議会の大きな流れや言いなどを学べて良かったです。未来自治体のプランシート作成のヒントになる表現もいくつか学べたので、自分たちの発表に活かすことができました。



東北芸術工科大学
プロダクトデザイン学科 1年
堀井 寧音

議員さんが山辺町の今とこれからの暮らしに合った対策を議会の答弁で意見を重ねる事で住みやすい町が形成されていると感じました。今後わたしも周囲の人とのコミュニケーションをしっかりと取り、より良い職場環境の会社を設立して行きたいと思いました。

表紙の説明



作谷沢小学校と統合して初めて入学した新1年生。学校の様子を取材してきました。一年生を迎える会の前日で、二、六年生から受ける歓迎の催しへのお返しをするため、楽しそうに歌や言葉の練習をしていました。私たち大人は統合によるさまざまな問題を考えがちですが、子どもたちは案外素直に受けこむことができるのではないのでしょうか。これからの学校生活がより良いものになっていくといいですね。子どもたちの持っている力を信じて。

編集後記

長い冬にも必ず春が訪れるものです。思えば一年以上もずっと新型コロナウイルスにふりまわされ続けています。すべてが制限され、「新しい生活様式」などという言葉もできました。このような状態がいつまで続くのでしょうか。子どもたちにとっては、一生の思い出となる行事も縮小や中止になり、これまでの学校生活とは比べられないほどの変化に戸惑ったのではないのでしょうか。いざというときには、新しいことに特化した薬の確立や、ワクチンの安定供給が早くできるようなことを願っています。

『春は必ず来る』と信じて。
渡邊裕一記

- 発行責任者 樋口 和男
- 広報常任委員会 渡邊 裕二
- 委員長 神保 裕
- 副委員長 斎藤 昭
- 委員 齊藤 昭
- 委員 峯田 昭
- 委員 竹俣 朋博

◎町ホームページから、議会だよりが閲覧できます。
<http://www.town.yamanobe.yamagata.jp/>



91億139万円 **可決**
歳入歳出とも
引き続き徹底した見直し

地域の発展と町民福祉の向上に

一般会計予算

53億3007万円
前年度比 +942万円

0.2%の微増

令和3年度予算総額

限られた財源を
重点的・効率的に配分

消防防災・救急体制の
充実

- 山形市への消防・救急業務委託
- 小型動力ポンプ積載車の更新



2億2655万円

今年度の
主な
重点事業

山辺温泉保養センター
運営事業

- 施設の維持・管理と利用者の利便性とサービス向上

3425万円

観光振興事業

- 観光振興計画策定業務委託料、観光協会補助

1141万円



観光案内所「あがらっしやい」

体育施設維持管理事業

- 体育施設指定管理委託料
- 受変電設備更新、トイレ改修

7896万円

疾病予防・感染症予防、
すこやか健康推進事業

- 健康保持増進のための定期、任意予防接種の助成
- 各種検診、健康相談、訪問指導など保健事業の推進



健康延伸事業の様子

4753万円

本庁舎の維持管理事業

- 非常用自家発電設備エンジン交換
- 空調設備の更新

6115万円

地域コミュニティ
推進事業

- 地域コミュニティ活動の充実、支援



公民館、ブロック(協)共催の町長と語る会

1872万円

定例会のあらまし
第1回定例会が、3月1日から12日までの12日間の会期で開催され、6人の議員が一般質問を行いました。
町長より令和3年度一般会計および特別会計並びに公営企業会計の予算関係6議案についての基本的な方針とその概要の説明を受け、直ちに予算特別委員会に付託し、最終日に特別委員長報告により全会一致で可決しました。
また、条例の改正、補正予算、指定管理の指定など全議案を全会一致で可決しました。請願については、さらに調査検討を要するため継続審査になりました。

その他の主な重点事業
第5次山辺町総合計画の施策大綱により、令和3年度も引き続き政策課題や地域の課題、行政需要に的確に対応するために、次のような事業の推進を図っていきます。
①一人ひとりの充実した暮らしを育むまちづくり
子育て支援、障がい者総合支援、障害児通所支援、高齢者支援、教育・保育給付事業、妊婦や乳幼児の健康増進、放課後児童クラブ育成など
②学び合う文化が息づくまちづくり
町立学校長寿命化工事、学校給食センター事業、体育スポーツ振興事業、体育施設維持管理事業、Taiken堂運営委員会補助など
③安全で安心して暮らせるまちづくり
消防団活動、防犯事業、交通安全事業、除雪事業、道路橋梁維持管理事業など
④活発な産業活動を推進するまちづくり
商工業振興事業、金融対策事業、観光振興事業、農業振興事業、ふるさと納税事業など
⑤人と自然が共生する資源循環型のまちづくり
林業振興事業、森林病害虫防除事業、森林環境税事業など
⑥実効性のある行財政の推進
起債元利償還事業、庁舎修繕事業、公共施設等再生整備基金積立など

令和3年度会計別予算明細

| 会計名 | | 令和3年度予算額 | 令和2年度予算額 | 前年度比(%) |
|--------|---------|-----------|-----------|---------|
| 一般会計 | | 53億3007万円 | 53億2065万円 | 0.2 |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 14億6234万円 | 14億9571万円 | △2.2 |
| | 介護保険 | 16億3967万円 | 16億6354万円 | △1.4 |
| | 後期高齢者 | 1億6784万円 | 1億7370万円 | △3.4 |
| 公営企業会計 | 簡易水道事業 | 1336万円 | 2017万円 | △33.8 |
| | 公共下水道事業 | 4億8809万円 | 5億153万円 | △2.7 |

限られた予算を有効に… 予算特別委員会

チェック Q&A

令和3年度予算審議に対し、議長を除く全議員で予算特別委員会（委員長 神保 稔、副委員長 竹俣 朋）を3月1日に設置しました。第1、第2分科会で4日間の審議を行い、3月12日に委員長から総括の報告を受け、本会議において全会一致で採択されました。

総務文教 第1分科会 総務課・防災対策課・政策推進課・税務課 会計課・教育委員会教育課・議会事務局

Q AED一体型デジタルサイネー
ジ式情報案内板広告料とは。

A 役場庁舎1階に今年度から設置しているAED付きの案内板の広告料収入。なお、AEDは無料となっている。（総務課）

Q いる。跡地利用の計画は。

A 情報収集しながら検討を継続中。これまで跡地利用の申し出があったが、議員に説明する段階までは進まなかった。（総務課）

Q 当町では要綱（管理運用規程）に沿って、災害のみ運用している。意見を参考にさせていたただきたい。（防災対策課）

Q 移住・定住促進事業は、県内の学生についても行うのか。

A 中地区のスクールバスは会計年度任用職員が運転するので報酬。作谷沢地区のスクールバス運行は業者に委託するので委託料。実績を見て中地区の運行も業者への委託を検討していきたい。（教育課）

A 平成23年に改定されたスポーツ基本法に基づき策定。アンケート調査をし、町民のスポーツ状況・施設などへの考えを聞き、策定していく。（教育課）

Q 財産管理事業で、旧大寺小学校や今年度から作谷沢小学校の管理委託料関係が数百万円かかる。とりわけ旧大寺小学校は廃校から年数が経って

Q 当町では防災放送の利用を防災に限っているが、他町では防災以外にも使用しているところもある。当町でも行政情報に活用していいのでは。

A 県内外を問わず町ゆかりの学生へ今年度から試験的に3カ年行い、検証を行う計画。対象人数は学校基本調査で把握した約350人で、広報紙・ホームページ・SNSなどで周知したい。（政策推進課）

Q 教育費の事務局事業で報酬と委託料がある訳は。



身近に感じるスポーツ推進計画を

Q 体育スポーツ振興事業でスポーツ推進計画の課題は。町民がスポーツを身近に感じ、実行できる計画を。

- 予算特別委員長報告**
- 大変厳しい財政状況の中で、効果的な財源確保やより効率的な行政運営と持続可能なまちづくりが喫緊の課題です。次の事項に対して意見を付しました。
- 遊休公共施設の活用に向けた積極的な取り組み
 - 支所、公民館などに対する指針の策定
 - 防災放送設備の有効的な活用
 - スポーツ推進計画の策定
 - 町営バスの利用率の向上
 - 山辺温泉での新型コロナウイルス感染への安全対策の徹底
 - 介護予防、健康延伸事業の積極的な推進
 - 耕作放棄地の発生防止への支援策の強化
 - 有害鳥獣駆除の強化と広範な体制での被害防止
 - 積極的な観光振興計画の策定
 - 災害の未然防止に道路・水路などの点検強化

厚生産業 第2分科会 町民生活課・保健福祉課・産業課 建設課・農業委員会

Q マイナンバーカードの交付率は。

A 令和2年12月末現在の交付率は18・5%。申請率は18・0%。（町民生活課）

Q 事業の効果か、減少している。

Q 商工振興費の空き店舗対策事業で、空き店舗の今後の考えは。

A 妊婦健康診査委託料の減額理由は、出生率減少傾向のためである。令和元年度は69人、令和3年3月8日時点で58人の出生である。（保健福祉課）

A 今年度は、空き店舗を借りたいとの話が1〜2件あったが、店舗兼住宅が多く、成約できなかった。商工会とも連携し進めていきたい。（産業課）

A 修繕は除雪車の法定点検と修繕である。講習会は指導する職員の受講で4名分を計上している。（建設課）

Q 道路橋梁維持管理事業が減額となっているが、現状は。

A 給付については、領収書、診断書の確認も必要なので、変更は難しい。（町民生活課）

Q 子育て支援医療、ひとり親家庭医療給付事業の補装具の給付方法変更の検討は。

A 令和3年度は1件実施予定。実際の伐採費用は補助金の2倍程度になる見通しなので、予算は37・5a分を計上している。（農業委員会）

Q 耕作放棄地解消支援事業の現状は。

A 令和2年度の補正予算対応となるものが4000万円ほどあり、計上している。実質、令和3年度も変わらず事業を進める。新規事業は山辺中学校南西の安全工事です。安全安心につながるものは、支障木や除雪など町で行えるものは進めていく。（建設課）

Q 介護保険給付費の本町の伸び、および近隣の状況は。

A 近隣市町村はゆるやかに伸びている。本町は介護予防

Q 除雪事業の修繕費の内容と講習会の回数などは。

A 令和3年度は1件の実施予定。実際の伐採費用は補助金の2倍程度になる見通しなので、予算は37・5a分を計上している。（農業委員会）



健やかな成長を願うための手帳、副読本



安全な通行のために

より良いまちづくりを 目指して 議案審議

条例改正

特別職と一般職の給与の一部改正

厳しい財政状況および社会経済情勢などを考慮し給与が減額されます（令和3年4月1日から令和4年3月31日までに限る）。給与月額に対し

- 町長 ↓ 10%
- 副町長 ↓ 8%
- 教育長 ↓ 5%
- 一般職員6級（課長級） ↓ 3・0%
- 4～5級（課長補佐級から係長級） ↓ 2・0%
- 1～3級（主査級から主事級） ↓ 1・0%

町立小中学校設置条例の一部改正

令和3年4月1日から作谷沢小が相模小に、作谷沢中が山辺中にそれぞれ再編統合するため条例を改正します。

道路占用料徴収条例の一部改正

道路法施行令の一部が改正され、国、県に準じて条例を改正します。

介護保険条例の一部改正

第8期介護保険事業計画の策定に伴う保険料率の改正により条例を改正します。

指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部改正

指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部改正

山辺町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部改正

指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正

災害時などにおける業務継続計画の策定、計画に係る研修および訓練の実施、利用者に対する虐待防止の措置、避難訓練への地

域住民の参加に向けた連携など、国の基準に合わせて条例を改正します。

議会委員会条例の一部改正（議員発議）

大規模な災害発生などにより開催場所に参集が困難と判断される場合におけるオンライン会議の開催方法などを定める条例に改正します。

人事案件

最上川中部水道企業団議員の選挙
武田啓一郎、神保 稔、渡邊裕二の3氏を再選

その他の案件

やまのベコミュニティバスの指定管理の指定

令和3年4月1日より令和6年3月31日までの3年間、引き続き山辺観光タクシー株式会社を指定管理者に指定するものです。

令和2年度 一般会計補正予算

1400万円を増額し、
77億2546万円に

- 臨時交付金充当事業への一時建て替え 1億3000万円の増
- 重度心身障がい（児）者医療給付費 700万円の減
- 介護給付費繰出金 1819万円の減
- 教育・保育給付費 2979万円の増
- 障害児通所支援事業 900万円の減
- 子育て支援医療給付費 1107万円の減
- 山形広域環境事務組合負担金 1892万円の減
- 舗装補修工事 2702万円の増
- 中学校管理事業 314万円の増
- 道路橋梁災害復旧事業 6345万円の増
- 河川等災害復旧事業 350万円の減
- 農地災害復旧事業 650万円の減
- 起債利子償還事業 500万円の減

特別会計補正予算

| 会計名 | 予算増減 | 総額 |
|-------------|------------|-----------|
| 国民健康保険特別会計 | 2056万円の減 | 14億7303万円 |
| 介護保険特別会計 | 1億1804万円の減 | 16億3024万円 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 197万円の増 | 1億7103万円 |

公営企業会計補正予算

| 会計名 | 予算増減 | 総額 |
|-----------|----------|----------|
| 簡易水道事業会計 | 144万円の増 | 4000万円 |
| 公共下水道事業会計 | 1162万円の増 | 3億6138万円 |

※各会計は事業実績見込みによります。



7月豪雨災害による復旧箇所
(町道築沢玉虫線)

請願

| | |
|------|--|
| 請願名 | 「安全・安心で、ゆきとどいた教育実現につながる30人数学級」の実現を求めることについて |
| 請願者 | 少人数学級をすすめる山形県民の会 世話人代表 高木 紘一 伊沢 良治 佐藤 匡子 |
| 趣旨 | 新型コロナウイルス感染防止対策で学校でも身体的距離の確保が重要です。国基準の40人数学級では距離が取れず「密集状態」となっています。これを避けるためには30人数学級を早急を実現すること。また、一人ひとりの子どもとじっくり向き合い、悩みに耳を傾け、個別の指導をするためには、20人数学級が望まれます。 全国知事会・全国市長会、全国町村長会、中央教育審議会、教育再生会議、自民党教育再生実行本部などから「少人数学級実現」の要望が政府に出されています。 早急に30人数学級の実現を求めます。 |
| 紹介議員 | 峯田 博、竹俣 朋 |
| 結果 | 継続審議 |



一般質問 町政のここはどうする?

一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考え方などを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。



※一般質問は、一問一答方式ですが、紙面の関係で主な質問と答弁を要約して掲載しています。

定例会のお知らせ

次回の定例会は6月です。傍聴については、町ホームページをご覧ください。電話 023-667-1117 (議会事務局)

3月定例会では、6人の議員が一般質問を行いました。

| | | |
|-------|------------|-------------------------------------|
| 竹俣 朋 | コロナ支援策 | まだまだ続く コロナ禍における対応策は |
| 武田啓一郎 | 農業振興 | さくらんぼハウスの 長寿命化に支援を |
| 佐藤 利和 | 介護保険 | 介護保険事業の 支払い方法の変更は |
| 遠藤真由美 | 地域づくり | まちづくりに 「地域カルテ」の導入を |
| 安達 春彦 | 施設運営 | 2021年以降の町有公共施設等の 運営方針及びその考え方は |
| 峯田 博 | 検査補助・使用料無料 | 新型コロナウイルス対策の拡大は 全ての団体の公民館使用料無料化は |

コロナ支援策

まだまだ続く
コロナ禍における対応策は



竹俣 朋 (町長) 国
の指針も具体的に示
されない部分がある中、町独自
の支援策をも講じている

質問 コロナワクチン接
種対策は万全か。

答弁 65歳以上の方への
接種に関しては、
接種券の3月中発送を
想定し作業を進めてい
る。町内の8医療機関
から協力をいただき、
町内にかかりつけ医が
ある場合はその医療機
関での「個別接種」、
それ以外は保健福祉セ
ンターでの「集団接種」
と、併用体制で準備を
進めている。密を避け
るため原則予約制とな
るが、詳細はワクチン
供給などが確定した時
点で改めてお知らせす
る。いずれにしても、
現在ワクチン接種を希
望される方が安全・安
心に接種できるように、
接種体制を整えていく。

質問 幼稚園や保育園で
コロナ感染者が発
生し休園となった場合
の代替保育の用意は。

答弁 安全・安心に代替
を行う施設やス
タッフの確保が困難で
あることから、代替保
育の実施は難しい。

質問 テレワークが進む
中で山辺町
の移住策は。

答弁 国県連携
で、東京圏
の移住希望者の
地方移住・就業
を後押しする移
住支援金を給付
している。ただ
就業企業などの
要件があるので、
活用しやすくな
るよう県を通じ



待たれる新型コロナウイルスワクチン接種

国と協議を図っている。また、コロナ禍の若者支援として学生などへの生活支援が「山辺町とのつながりを感じられた」と好評だったことを受け、継続拡大して実施し、将来的な回帰定住につなげたい。今後も山辺町の魅力を町内外に広く発信し、移住定住の促進につなげていきたい。

農業振興

さくらんぼハウスの
長寿命化に支援を



武田啓一郎 (町長)
補強や修繕支援のあり
方と手続について検討

質問 さくらんぼの実割
れと鳥の食害防止
による品質向上と生産
性が高まるパイプハウ
スも、経年劣化による
支柱の根本付近や雨樋
などの腐食が進み、部
材の交換補強を必要と
するハウスが目立って
きている。

ハウスなどの強靱化対
策支援として、補強に
掛かる経費の県支援が
ある。

認定農業者への修繕
支援はあるが、さくら
んぼ雨除けハウス経年
劣化腐食などに対する
長寿命化対策としての
施設補強や修繕の状況
を把握したうえで、支
援のあり方および手続
について検討
させていただ
く。

山辺さくらんぼの産
地を支えている大半の
小規模栽培農家にも目
を向けた、パイプハウ
スの長寿命化対策支援
に取り組みべきではな
いか。

質問 コロナ禍
2年目の
町さくらんぼ
販売戦略の考
えは。

町独自に、
生産農家の出
荷実情を把握
し、直接各市場、
小売名店

答弁 農業用施設の長寿
命化には、災害の
被害防止となる農業用



経年劣化で腐食し、補強を要するパイプ支柱の根本付近

介護保険

介護保険事業の
支払い方法の変更は



佐藤 利和 (町長) 近隣市町の実施状況お
よび介護保険関係事業者と話し
合い実施に向け検討する

質問 具体的な内容は。

答弁 今まで当町におい
て介護保険を活用
しての福祉用具購入費
や住宅改修費を申請す
る場合、いったん全額
を事業者者に支払い、そ
の後保険給付分の7割
から9割が払い戻しさ
れる償還払いを原則と
してきたが、利用しに
くいという声があるの
であれば、一定の要件
を満たした利用者に対
し、保険給付費の受領
の権限を事業者者に委
任し、そのうち給付費と
して町から事業者者に支
払う方法に変更して、
利用者の最初の負担が
1割などで済む受領委
任払いも選択できるよ
う検討していく。

質問 団塊の世代が75歳
を迎える2025
年に向けての町の介護
事業を取り巻く状況
は。

答弁 令和2年3月末現
在の高齢化率33.
4%、介護認定率が
17.1%という数字が
2025年には前者が
38.7%後者が18%に
上昇すると予測される。
そのため介護保険関係
事業者や地域との連携

強化がますます必要不
可欠となる。今後は高
齢者保健福祉計画・第
8期介護保険事業計画
の策定を通して地域包
括ケアシステムを着実
に構築、介護予防の推
進並びに地域共生社会
の実現に取り組む。こ
れらの施策により、ま
ちの基本理念である
「高齢期を迎えても元
気でいきいきとつな
がるまち やまのべ」に
つなげたい。



バリアフリーで快適に

地域づくり
まちづくり



美由（町長）ブロック協議会連絡調整会議などで情報提供を図っていく

質問 各ブロック協議会では知恵を絞ってイベントや講座を開催している。

答弁 それぞれの課題を明確にし、地域の規模がどんなに小さくても自分たち自身ができることを増やし続けること。その成果として地域の持続可能性が維持されることを目指す。「小規模多機能自治」という考え方があると知った。

質問 地域担当職員や各ブロック協議会の役員、地区委員などで講師を呼んで勉強会を開催してはどうか。

答弁 地域の実情がさまざまであることから一堂に会しての勉強会は考えていないが、ブロック協議会におい

アンケート項目の作成結果を基に「地域づくり」を支援し、行政住民をつなぐ「まちづくり」のための地域おこし協力隊員を募集してはどうか。

質問 「地域カルテ」は地域課題を見つけて有効な方法であるので、ブロック協議会事業補助金の活用事例として、時期をみて情報提供を図っていく。

答弁 「地域おこし協力隊」は地域の実情に同じ、どういった活動を行ってもらうのかなど内容について提案をもらった上で導入を検討していく。



地域カルテの導入でさらなる地域コミュニティの形成を

検査補助
使用料無料



博（町長）PCR検査への補助制度は考えていない

質問 町内の感染者の感染経路の結果は。

答弁 村山保健所が調査をしており、現在も「調査中」である。

質問 介護・福祉・医療・教育などの従事者・利用者の定期的なPCR検査の計画は。

答弁 町内では現段階で感染拡大はしていない。県が必要と判断した方に検査を実施。学校では感染予防および拡大防止対策を行っている。

質問 PCR検査を希望する方へ町からの補助制度の新設は。

質問 現時点では考えていない。

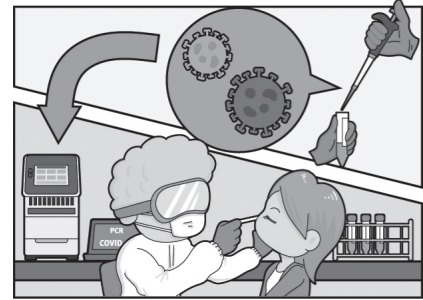
質問 社会教育活動とは。

答弁 学校教育を除く全世代のさまざまな場面での教育・学習活動が該当すると考える。

質問 教育施設条例になり公民館の使用料は。

答弁 各公民館の管理運営は建設時の目的や補助事業に同じ設置条例が定められており、使用については、それぞれの設置条例で定めている。

質問 現在、公民館の使用人数は定数の半分まで、使用料



気軽にPCR検査を

の値下げは。

答弁 使用料は各部屋の性質や広さで算出しており、これまでも利用人数での減額は実施していないことから、今回の利用人数制限による使用料の減額は考えていない。

質問 使用料の無料化は。

答弁 令和元年度は、99・6%の使用料は無料だが、公民館設置目的外の使用は受益者負担で、公民館の設置目的に合致する使用料について無料で使用していた。

施設運営

2021年以降の町有公共施設等の運営方針及びその考え方は



春彦（町長）必要性自体を再検討し、情勢の変化に応じて戦略的な取り組みを推進していく

質問 昨年の一般質問で答弁された「町有財産の積極的な売却」について進捗および今後の予定は。

答弁 令和元年度に公募したが売却に至らなかった大門5丁目空き地において、今年5月に再度一般競争入札に向けて準備を進めている。

質問 「公共施設等個別施設計画の新たな策定」とも昨年答弁されたが、その進捗および今後の予定は。

答弁 計画書策定の取りまとめなどは完了している。詳細については議会へ改めて説明する予定。

質問 住民のニーズにあつた費用対効果の高い施設に対しPP・PFIの活用への検討の進捗は。

答弁 施設改修する場合の選択肢の一つとして掲げている。現在は具体的な検討段階には入っていない。近年様々な自治体の施策に伴い、町が事業を展開する場合においてはPP・PFIの活用を十分に検討する必要があると考えている。

質問 各公共施設の更新、統合、廃止は何をキーポイントに決定していくつもりなのか。



民間ノウハウや資金を活用した事業展開を

答弁 個別施設計画の優先順位の考え方に基づき検討を進めるが、全体的な取り組み状況の進捗や社会情勢の変化などを十分考慮に入れ判断する。

質問 大規模修繕を発生させないよう長期のメンテナンス計画を組み込む必要があるのでは。

答弁 損傷が軽微である早期段階のうちに予防的な修繕などを実施することで機能の保持・回復を図る「予防保全型維持管理」の導入を推進していく。

※PPPとは…公共主体と民間が連携し公共サービスを提供する手法を幅広く捉えた概念。
※PFIとは…公共施設などの建設、維持管理・運営などを民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して行う手法。

第1回臨時会
1月29日

新型コロナウイルスワクチン
接種事業の実施などを可決

第1回臨時会のあらまし

令和3年第1回臨時会が1月29日開催され、一般会計補正予算（第7号）他3議案が審議され、原案通り可決されました。

令和2年度一般会計補正予算

新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施、除雪事業への追加、山辺温泉保養センターのエアコン改修工事、ふるさと応援基金積立金増額のために歳入歳出それぞれ1億407万円を追加し、77億1145万円に。

主な補正内容

| | |
|----------------------|----------|
| ・ 新型コロナウイルスワクチン接種事業 | 1億54万円の増 |
| ・ 除雪事業 | 5000万円の増 |
| ・ 山辺温泉保養センターエアコン改修工事 | 462万円の増 |
| ・ ふるさと応援基金積立金 | 4000万円の増 |
| ・ 予備費 | 773万円の減 |

審議事項

埋設する導水管用の耐圧ポリエチレンリブ管購入、排水ポンプパッケージ購入、新型コロナウイルス感染症対策対応スクールバス購入の3購入事業契約を可決した。

諸般の報告

伊藤恭子議員の辞職願を許可することが報告された。

第11回 議会報告会開催のお知らせ

未来を話す会

日時：6月5日(土) 夜7時～
会場：中央公民館 (2F和室)

まちづくりは、ちょっとしたアイデアから生まれます！

山辺町の未来について、あなたの思い
やアイデアを気軽に話してみませんか。



※ご来場の際は事前に検温のご協力をお願いいたします。また、会場ではマスクの着用をお願いいたします。
※新型コロナウイルス感染症の影響により延期になる場合がありますので、事前にお問い合わせください。

おじゃまします！

出前議会

まちづくりについて議員と話してみませんか。



いろんなアイデアやご意見、お聞かせください。
地域の集まり、子ども育成会、会社・グループなど少ない
人数でもご指定いただいた会場にこちらから伺います。
土日、夜でも対応いたします。

希望日は
ご相談ください

お申し込みは、お近くの議員までお気軽にお話してください。

- ◆議員辞職
伊藤恭子議員より、健康上の事由による辞職願が提出され、1月28日付で許可、1月31日付で辞職しました。
- ◆委員会構成
武田啓二郎議員が、総務文教常任委員会副委員長、議会運営委員会委員に就任いたしました。
- ◆訂正
令和3年1月27日発行の「やまのべ議会だより」111号の掲載記事の、7ページ、国道458号特別委員会の16行目で、「町では将来的なバイパス化が…」という部分の『町では』を削除させていただきます。

新しい町への挑戦

議会
活動報告

厚生産業常任委員会

雪害などによる被害状況を視察

今冬は積雪が多く、果樹の幹・枝折れやハウス施設の倒壊などの被害が各地で発生。また、町道中作谷沢線においては水路施設の老朽化などにより道路が陥没し、通行止め箇所や玉虫沼のシンボルで樹齢300年以上の「笠松」の枝折れで容姿が損なうなど、厚生産業常任委員会の所管する箇所の雪害状況を3月17日に担当課から説明を受けながら実態把握を行いました。



雪害による「笠松」

特に、果樹については全般的に老木への被害が多く、今後意欲的に営農を継続するためにも新植による樹木の更新や被害木の処理の方策を検討するなど、これを機に離農や耕作放棄地の発生に結びつかない農業施策の検討を望みます。

また、町道中作谷沢線の復旧工事については、山間部の基幹道路でもあり早急な工事の推進を求めます。



町道中作谷沢線の陥没箇所

玉虫沼の「笠松」については、新年度予算で対応するべく検討しているのとこと。これまでの貴重な財産を後世に伝える方途を検討していただければとの要望を申し上げました。

全員協議会

議場内の音響・映像が鮮明に

全員協議会が3月23日開かれ、新たに設置された本会議場の音響および映像配信設備の説明を受けました。
長年使い続けてきた機器の不調で、録音や録画に不具合が生じていました。これまでのものよりも安価な設備ですが、映像や音響は鮮明でクリアなものでした。次回より新しい機器での映像が配信されますので、ぜひご覧ください。



議場内の機器の説明を受ける議員

新型コロナウイルス感染拡大防止により3月24日の令和2年度町村議会パネルディスカッションは中止になりました。